



第3会場●2F 第4研修室

■司 会／石川 順雄 広島県教育会生涯学習課 社会教育主事
野口美恵子 自治労佐賀県本部

1 「谷山エコミュージアム」構想につなげる「エコマップ」作成ワークショップ 13:30～13:55

深見 聡（鹿児島市） NPOまちづくり地域フォーラム・鹿児島探険の会 理事長

谷山地区は旧谷山市の中心市街地である。道が狭く車社会には不便と受取られがちだが、視点を変えれば安全に散策が楽しめる地域である。「まちなみ散策ウォークラリー」の発展としてワークショップを開催。谷山商工会、鹿児島大学の協力を得て、絵地図「たにやまエコマップ」を作成し、主要観光施設に配付した。谷山の歴史や自然に地域の魅力を再発見した過程は生涯学習とまちづくりの発想に繋げている。

2 多様に、多彩にまちづくり “七人の侍” の実践 13:55～14:20

ーいま、鎮守の森をてくてく探訪：芋煮会、郷土唄のCD化、おはなしクレヨンの読み聞かせーそして、これから
松浦 友子（山口市） ふるさと大内塾 代表

「ふるさと大内塾」の目的は「楽しくまちづくり」。フィールドは大内を中心に山口市全域。活動は歴史探訪「てくてく大内往還」、芋煮会、郷土の歌の収集・保存などに発展。オープン参加方式で参加者もふえた。大内小学校の「地域の先生」に応募し、「おはなしクレヨン」グループを結成して読み聞かせを開始。5年目の今、読み聞かせプログラムは大内小学校全児童の自主読書会に発展した。

ティータイム

14:20～14:55

3 町村合併によるまちづくりと生涯学習 14:55～15:20

ー新市まちづくり構想における公民館教育力の創造ー

吉山 治（島根県雲南六町村） 前島根県雲南六町村合併協議会事務局 事務局次長

島根県商工労働部産業振興課 地域産業創造グループリーダー

出雲の南6町村が合併することになり、新市まちづくり構想の中で公民館の教育／自治機能に注目が集まった。そこで合併協議会は「教育創造プロジェクト」の研究と平行して6町村等公民館連絡協議会を設立。まちづくりの視点として「地域経営」、「福祉と生涯学習の統合」「住民自治における公民館の区域機能の再評価」を提案し、議論の「場」を設定した。

4 1市5町3村共催事業：青少年ボランティア養成講座 15:20～15:45

ー市町村行政の枠を超えた連携事業ー

奥村 秀蔵（大分県佐伯地区） 佐伯地区社会教育主事会 代表

森崎 真司 青少年ボランティア養成講座事業 担当者

佐伯地区社会教育主事会の企画による共同事業の一環として、これまで「青年大学講座」、「女性交流セミナー」等を開催してきた。本事業は2001年度に創設。管内中高校生ボランティア活動のリーダー養成を目的に夏期休暇中に開講。内容は「講習、実践、振り返り学習」を組み合わせた。効果は各地区でのボランティア活動への参加に現れている。

5 総括討論 15:45～16:15